



## 平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 株式会社 インフォマート  
 コード番号 2492 URL <http://www.infomart.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 勝照  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 藤田 尚武  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 平成25年9月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-5777-1710

平成25年9月13日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	2,066	15.2	531	60.3	539	64.1	321	78.6
24年12月期第2四半期	1,794	12.9	331	21.2	328	20.9	180	18.9

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 297百万円 (116.4%) 24年12月期第2四半期 137百万円 (31.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	22.27	21.45
24年12月期第2四半期	12.61	12.17

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	4,746		3,081			64.7
24年12月期	4,657		2,889			61.5

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 3,070百万円 24年12月期 2,866百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年12月期	—	2,925.00	—	2,925.00	5,850.00
25年12月期	—	21.12	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	10.57	31.69

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年10月31日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年1月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。また、平成25年4月30日開催の取締役会決議により、平成25年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成25年12月期(予想)の配当予想については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,388	16.0	997	22.3	988	21.2	594	19.8	40.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月30日開催の取締役会決議により、平成25年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり当期純利益金額については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	14,552,000 株	24年12月期	14,552,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	98,000 株	24年12月期	98,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	14,454,000 株	24年12月期2Q	14,298,000 株

当社は、平成24年10月31日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年1月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っており、また、平成25年4月30日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年7月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	11

※ 当社は、以下のとおり決算説明会を開催する予定です。また、この説明会で配布する資料については当社ホームページ等で掲載する予定です。

・平成25年8月1日（木）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日～6月30日）における我が国の経済は、安倍政権の経済政策、日銀の金融緩和により、円安・株高が進み、輸出の増加、個人消費の改善、復興需要の継続等、国内景気は回復に向けた動きとなりました。

当社グループが主に事業を展開する国内のBtoB（企業間電子商取引）市場は、平成23年のインターネットによる企業間電子商取引が前年比1.7%増の171兆円、全ての商取引に対する電子商取引の割合であるEC化率が前年比0.5ポイント増の16.1%と、着実に拡大が進んでおります。（経済産業省「平成23年度我が国情報経済社会における基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」）

このような環境下において、当社グループは当第2四半期連結累計期間におきまして、「ASP受発注システム」、「ASP規格書システム」、「ASP商談システム」、「ASP受注・営業システム」の利用拡大によるフード業界BtoBの強化、子会社による「クラウドサービス事業」、「海外事業」の推進を行いました。また、システム開発では、今後の成長へ向けた「BtoB&クラウドプラットフォーム（次世代プラットフォーム）」の開発を進め、一部をリリースいたしました。

その結果、「ASP受発注システム」等の順調な利用拡大により、当第2四半期連結会計期間末（平成25年6月末）の「FOODS Info Mart」利用企業数（海外事業を除く）は、前連結会計年度末比1,157社増の32,636社（売り手企業：同1,092社増の25,867社、買い手企業：同65社増の6,769社）となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、「ASP受発注システム」、「ASP規格書システム」を始め、各システムの国内での利用拡大によりシステム使用料が増加し、2,066,370千円と前年同期比272,211千円(15.2%)の増加となりました。

利益面は、売上高の増加がシステム関連費用（ソフトウェア償却費、データセンター費）、人件費等の増加を吸収し、営業利益は531,104千円と前年同期比199,715千円(60.3%)の増加、経常利益は539,584千円と前年同期比210,789千円(64.1%)の増加、四半期純利益は321,903千円と前年同期比141,651千円(78.6%)の増加となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### i. ASP受発注事業

「ASP受発注システム」は、外食チェーン、給食会社、ホテル等の買い手新規稼働が順調に進み、買い手店舗数、売り手企業数が増加いたしました。また、直営業に加え、アライアンスパートナー（売り手企業・システム会社等）からの紹介による新規案件も継続的に発生いたしました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の買い手企業の稼働社数は1,168社（前連結会計年度末比86社増）（注）、買い手企業の利用店舗数は24,824店舗（同1,771店舗増）、売り手企業数は22,793社（同951社増）（注）、当第2四半期連結累計期間のASP受発注取引高は3,848億円（前年同期比16.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の「ASP受発注事業」の売上高は1,258,101千円と前年同期比136,220千円(12.1%)の増加、営業利益は610,947千円と前年同期比46,236千円(8.2%)の増加となりました。

なお、8月に西日本エリアにおける新規開拓営業のスピード化を目的に西日本営業所を大阪に開設いたします。

#### ii. ASP規格書事業

「ASP規格書システム」は、食の安全・安心をサポートする「商品規格書」データベースシステムとして、メーカー、卸会社、買い手企業における自社システムでの利用及びそれぞれの取引先との利用拡大を推進いたしました。また、新システム「ASPメニュー管理システム」の提供を開始いたしました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の買い手機能は186社（前連結会計年度末比27社増）（注）、卸機能は230社（同8社増）（注）、メーカー機能は4,664社（同218社増）（注）となりました。

当第2四半期連結累計期間の「ASP規格書事業」の売上高は270,709千円と前年同期比57,992千円(27.3%)の増加、営業利益は15,945千円と前年同期比2,130千円(15.4%)の増加となりました。

## iii. A S P 商談事業

「ASP商談システム」の売り手企業はセミナーによる新規数の増加により純増が継続いたしました。また、買い手企業は初年度無料キャンペーンが昨年末で終了したことにより新規数が減少いたしました。また、解約数の低減で純増を維持いたしました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の売り手企業数は2,122社（前連結会計年度末比98社増）、買い手企業数は6,606社（同66社増）（注）となりました。

当第2四半期連結累計期間の「A S P 商談事業」の売上高は348,684千円と前年同期比26,300千円(8.2%)の増加、営業利益は37,971千円（前年同期は営業損失3,430千円）となりました。

## iv. A S P 受注・営業事業

「ASP受注・営業システム」は、卸会社とその取引先店舗（主に個店等）の新規稼働及び利用拡大を推進いたしました。また、美容業界向け「BEAUTY Info Mart（ビューティインフォーマット）」、医療業界向け「MEDICAL Info Mart（メディカルインフォーマット）」の実績作りを行いました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の受注卸社数は163社（前連結会計年度末比13社増）、発注店舗数は20,606店舗（同2,660店舗増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の「A S P 受注・営業事業」の売上高は154,681千円と前年同期比32,642千円(26.7%)の増加、利益面は、ソフトウェア償却費、人件費等の経費により、営業損失69,720千円（前年同期は営業損失146,581千円）となりました。

## v. クラウドサービス事業

「Foods Info Rise 販促支援システム」のメーカー利用の増加、メニュー（レシピ）開発サービスを推進いたしました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の食品メーカー利用社数は127社（前連結会計年度末比27社増）、卸会社利用社数は161社（同3社増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の「クラウドサービス事業」の売上高は35,907千円と前年同期比19,667千円(121.1%)の増加、利益面は、システム関連費用及び人件費等の経費により営業損失24,714千円（前年同期は営業損失46,148千円）となりました。

## vi. 海外事業

中国のグループ会社を中心に北京・上海を拠点として「SaaSシステム」の新規営業、稼働を推進いたしました。また、システムの受託開発を行いました。当第2四半期連結会計期間末の中国での「SaaSシステム」の利用企業数は、一定の発注店舗数、システム取引高の実績はあるものの、解約が発生したことから、13社（前連結会計年度末比7社減）となりました。

当第2四半期連結累計期間の「海外事業」の売上高は、システム受託開発売上により19,685千円と前年同期比16,889千円(604.0%)の増加、利益面は、データセンター費及び人件費等の経費により営業損失34,380千円（前年同期は営業損失51,024千円）となりました。

（注）セグメント別の利用企業数は、システムを利用する利用企業数の全体数を表示しております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①財政状態

当第2四半期連結会計期間末（平成25年6月末）の資産合計は、4,746,920千円（前連結会計年度末比89,577千円増）となりました。

流動資産は、1,496,364千円（前連結会計年度末比67,871千円減）となりました。主な減少要因は現金及び預金が138,444千円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、3,250,555千円（前連結会計年度末比157,448千円増）となりました。主な増加要因はソフトウェア仮勘定が103,963千円増加したことなどによるものであります。

流動負債は、1,509,489千円（前連結会計年度末比41,404千円増）となりました。主な増加要因は未払法人税等が41,257千円増加したことなどによるものであり、主な減少要因は未払金が40,805千円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、155,472千円（前連結会計年度末比143,908千円減）となりました。主な減少要因は長期借入金144,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,664,962千円となりました。

純資産は、3,081,957千円（前連結会計年度末比192,080千円増）となりました。主な増加要因は利益剰余金が216,208千円増加（配当105,694千円を実施した一方で、四半期純利益321,903千円を計上）したことによるものであり、主な減少要因は少数株主持分が12,176千円減少したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」）の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ138,444千円減少し、445,117千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、761,594千円（前年同四半期は591,499千円の増加）となりました。主な収入は、税金等調整前四半期純利益539,584千円、減価償却費476,655千円であり、主な支出は、法人税等の支払額256,827千円であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、652,530千円（前年同四半期は575,787千円の減少）となりました。主な支出は、「FOODS Info Mart」等システム開発に伴う無形固定資産の取得による支出650,157千円であります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、249,502千円（前年同四半期は139,201千円の減少）となりました。長期借入金の返済による支出144,000千円、配当金の支払額105,502千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、当連結会計年度（平成25年1月1日～12月31日）におきまして、引き続き、「ASP受発注システム」、「ASP規格書システム」、「ASP商談システム」、「ASP受注・営業システム」の利用拡大によるフード業界BtoBの強化、美容業界向け「BEAUTY Info Mart」・医療業界向け「MEDICAL Info Mart」の利用拡大による他業界BtoBの展開を推進し、戦略子会社による「クラウドサービス事業」、「海外事業」の収益化を図ってまいります。また、今後の成長へ向けた「世界のあらゆる言語で、あらゆる業界で展開できるBtoB&クラウドプラットフォーム（次世代プラットフォーム）」の構築及び始動に取り組んでまいります。

通期につきましては、さらに各システムの利用拡大によりシステム使用料が増加することから、売上高は4,388百万円（前連結会計年度比16.0%増）となる見通しです。

利益面につきましては、売上高の増加が上記の費用の増加を吸収し、営業利益は997百万円（同22.3%増）、経常利益は988百万円（同21.2%増）、当期純利益は594百万円（同19.8%増）となる見通しです。

上記連結業績予想は、前回公表（平成25年2月14日発表）から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## （減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	583,561	445,117
売掛金	886,447	900,059
貯蔵品	2,088	2,148
繰延税金資産	70,315	118,025
その他	30,995	43,265
貸倒引当金	△9,171	△12,251
流動資産合計	1,564,235	1,496,364
固定資産		
有形固定資産		
建物	55,158	55,158
減価償却累計額	△32,964	△35,384
建物(純額)	22,193	19,774
工具、器具及び備品	128,461	130,957
減価償却累計額	△100,077	△107,403
工具、器具及び備品(純額)	28,384	23,553
有形固定資産合計	50,578	43,328
無形固定資産		
ソフトウェア	1,186,259	1,222,566
ソフトウェア仮勘定	1,639,825	1,743,788
その他	14,386	15,613
無形固定資産合計	2,840,471	2,981,968
投資その他の資産		
投資有価証券	30,000	30,000
繰延税金資産	108,158	131,918
その他	63,899	63,339
投資その他の資産合計	202,057	225,258
固定資産合計	3,093,107	3,250,555
資産合計	4,657,342	4,746,920

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	148,226	119,878
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	288,000	288,000
未払金	129,674	88,869
未払法人税等	249,975	291,232
賞与引当金	43,957	46,386
その他	208,251	275,122
流動負債合計	1,468,084	1,509,489
固定負債		
長期借入金	288,000	144,000
資産除去債務	11,381	11,472
固定負債合計	299,381	155,472
負債合計	1,767,466	1,664,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001,200	1,001,200
資本剰余金	437,975	437,975
利益剰余金	1,494,160	1,710,369
自己株式	△34,616	△34,616
株主資本合計	2,898,719	3,114,927
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△32,548	△44,500
その他の包括利益累計額合計	△32,548	△44,500
少数株主持分	23,705	11,529
純資産合計	2,889,876	3,081,957
負債純資産合計	4,657,342	4,746,920

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,794,159	2,066,370
売上原価	642,505	669,811
売上総利益	1,151,654	1,396,559
販売費及び一般管理費	820,266	865,455
営業利益	331,388	531,104
営業外収益		
受取利息	73	24
為替差益	1,811	12,896
未払配当金除斥益	—	252
その他	4	8
営業外収益合計	1,890	13,181
営業外費用		
支払利息	4,483	4,104
その他	—	596
営業外費用合計	4,483	4,701
経常利益	328,795	539,584
特別損失		
固定資産除却損	44	—
減損損失	11,006	—
特別損失合計	11,050	—
税金等調整前四半期純利益	317,744	539,584
法人税、住民税及び事業税	240,313	301,328
法人税等調整額	△59,957	△71,471
法人税等合計	180,356	229,857
少数株主損益調整前四半期純利益	137,388	309,727
少数株主損失(△)	△42,864	△12,176
四半期純利益	180,252	321,903

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	137,388	309,727
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	220	△11,951
その他の包括利益合計	220	△11,951
四半期包括利益	137,609	297,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180,399	309,952
少数株主に係る四半期包括利益	△42,790	△12,176

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	317,744	539,584
減価償却費	464,603	476,655
のれん償却額	10,013	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△830	3,079
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,241	2,428
受取利息及び受取配当金	△73	△24
支払利息	4,483	4,104
為替差損益(△は益)	△1,811	△12,896
固定資産除却損	44	—
減損損失	11,006	—
売上債権の増減額(△は増加)	19,786	△13,535
仕入債務の増減額(△は減少)	△50,149	△28,347
その他	19,622	51,944
小計	797,678	1,022,993
利息及び配当金の受取額	72	23
利息の支払額	△5,450	△4,594
法人税等の支払額	△200,801	△256,827
営業活動によるキャッシュ・フロー	591,499	761,594
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,249	△3,054
無形固定資産の取得による支出	△576,679	△650,157
その他	5,141	681
投資活動によるキャッシュ・フロー	△575,787	△652,530
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△144,000
配当金の支払額	△139,201	△105,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,201	△249,502
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,063	1,994
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△122,427	△138,444
現金及び現金同等物の期首残高	1,019,667	583,561
現金及び現金同等物の四半期末残高	897,240	445,117

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ASP 受発注事業	ASP 規格書事業	ASP 商談事業	ASP 受注・営業事 業	クラウド サービス 事業	海外事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	1,121,874	212,717	322,383	119,038	16,240	1,905	1,794,159	—	1,794,159
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6	—	—	3,000	—	890	3,897	△3,897	—
計	1,121,881	212,717	322,383	122,038	16,240	2,796	1,798,057	△3,897	1,794,159
セグメント利益 又は損失(△)	564,711	13,814	△3,430	△146,581	△46,148	△51,024	331,340	48	331,388

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の48千円は、セグメント間の債権債務消去に係る為替差損益48千円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外事業」セグメントにおいて、事業用資産の収益性が低下したこと等に伴い、減損損失を計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては11,006千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ASP 受発注事業	ASP 規格書事業	ASP 商談事業	ASP 受注・営業事 業	クラウド サービス 事業	海外事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	1,258,096	270,709	348,684	153,481	34,632	765	2,066,370	—	2,066,370
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4	—	—	1,200	1,275	18,919	21,399	△21,399	—
計	1,258,101	270,709	348,684	154,681	35,907	19,685	2,087,770	△21,399	2,066,370
セグメント利益 又は損失(△)	610,947	15,945	37,971	△69,720	△24,714	△34,380	536,050	△4,946	531,104

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の△4,946千円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

## 株式分割及び定款の一部変更

平成25年4月30日付取締役会決議により、株式分割及び定款の一部変更について決定いたしました。

## (1) 株式分割及び定款の一部変更の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

## (2) 株式分割の概要

## ① 分割の方法

平成25年6月30日を基準日（同日は株主名簿管理人の休業日につき、実質上の基準日は同年6月28日（金曜日）として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたします。

## ② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	7,276,000株
今回の分割により増加する株式数	7,276,000株
株式分割後の発行済株式総数	14,552,000株
株式分割後の発行可能株式総数	45,088,000株

## ③ 分割の日程

基準日の公告日	平成25年6月14日
基準日	平成25年6月30日
効力発生日	平成25年7月1日

## (3) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下の通りとなります。

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	12円61銭	1株当たり四半期純利益金額	22円27銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	12円17銭	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	21円45銭